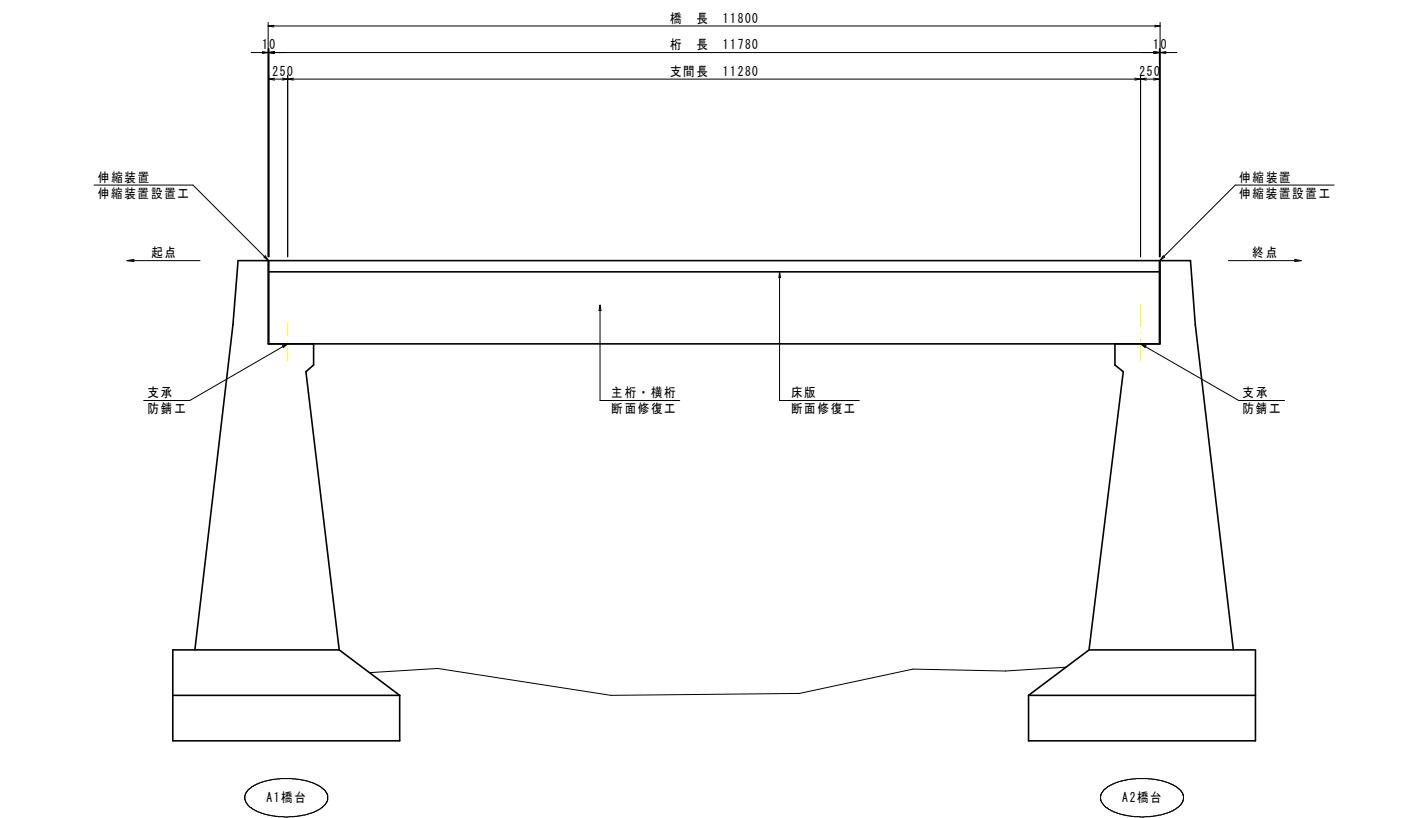
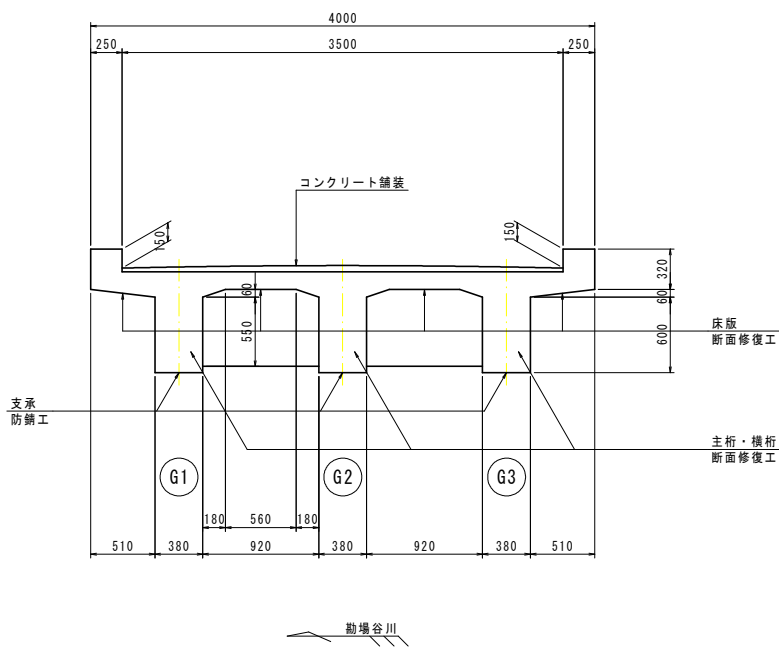


上勘場橋 補修工一般図

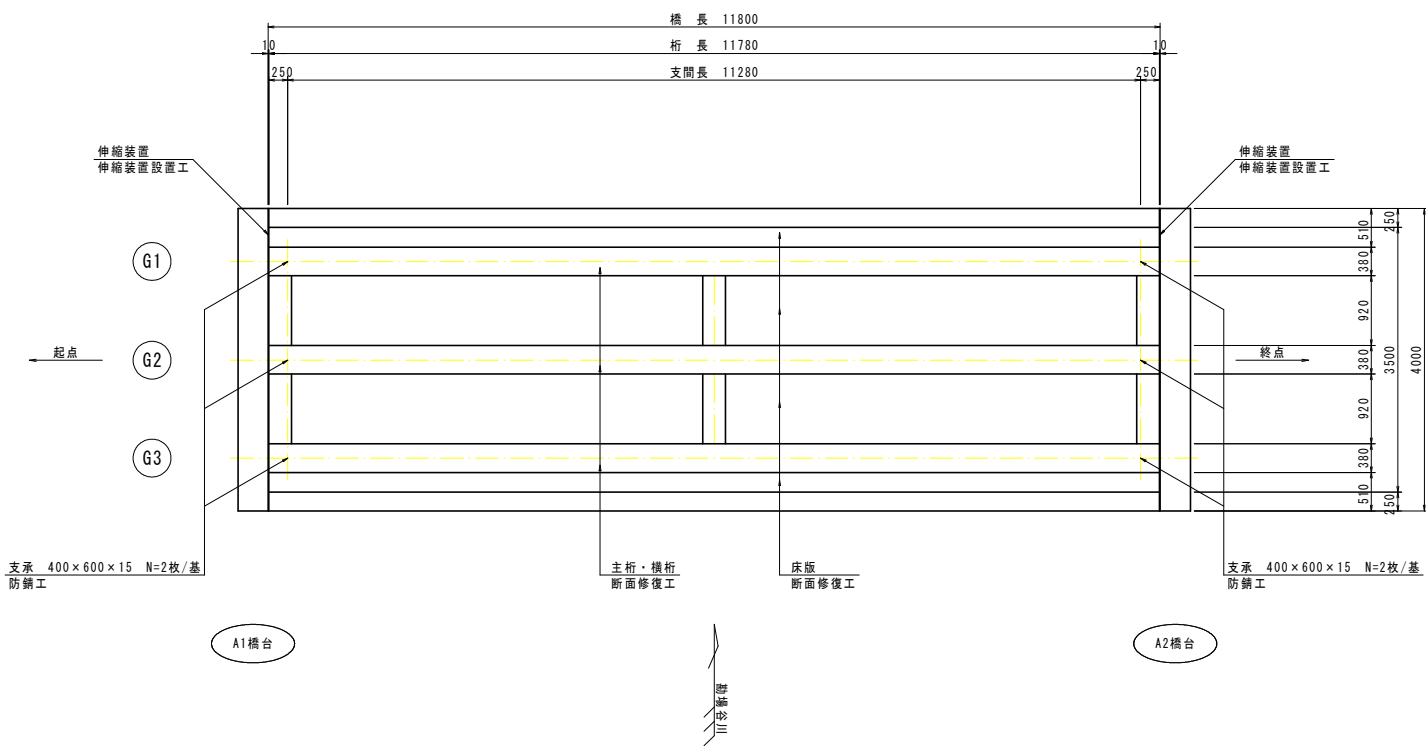
側面図 S=1:50



断面図 S=1:30



平面図 S=1:50



補修工一覧表

項目	補修工	材料等
主桁・横桁	断面修復工（左官工法）	ポリマーセメント系モルタル
床版	断面修復工（左官工法）	ポリマーセメント系モルタル
支承	防錆工	常温亜鉛めっき
伸縮装置	伸縮装置設置工	橋梁用伸縮継手装置

当初設計図面

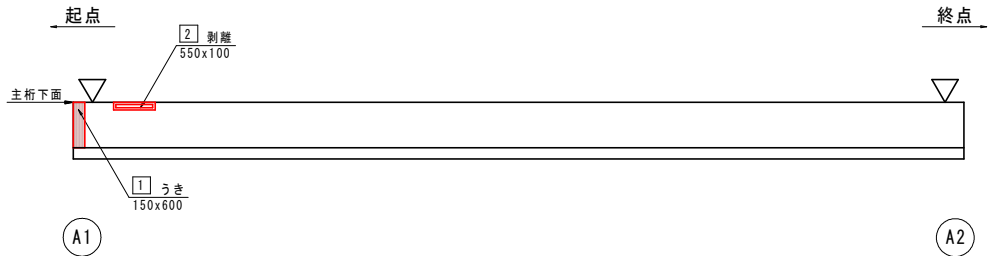
[上勘場橋]			
工事名	R8徳土 国道438号（上勘場橋・府殿橋） 神・上分 橋梁修繕工事		
路線名等	一般国道438号		
工事箇所	名西郡神山町上分（上勘場橋・府殿橋）		
図面名	上勘場橋 補修工一般図		
縮尺	図示	図面番号	1 / 11
会社名			
事業者名	徳島県土整備事務所		

【注記】
・本図面は、確認調査結果を基に作図したものである。
・施工実施前に現地測定を行い、形状寸法を確認の上、
材料発注・加工等に取りかかること。

主桁・横桁補修工詳細図(1/3) S=1:50

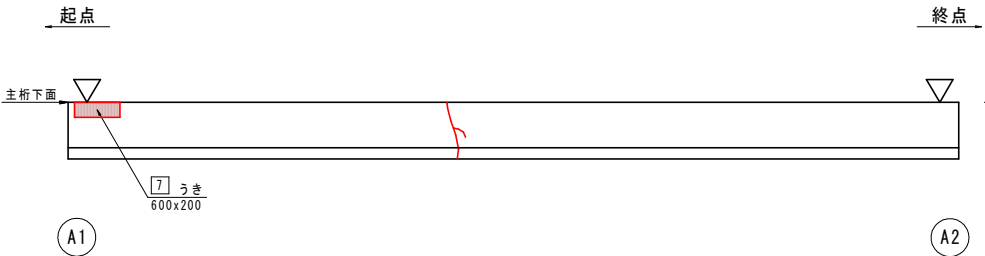
G1桁

(外側側面)



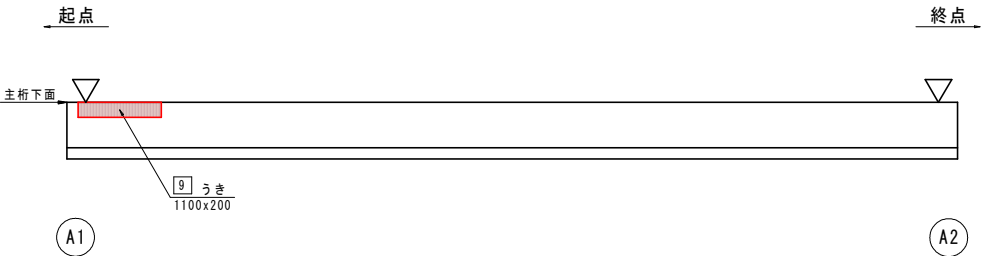
G2桁

(G1桁側側面)

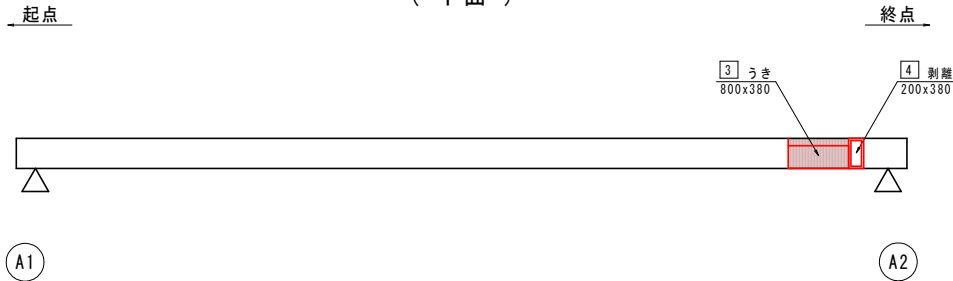


G3桁

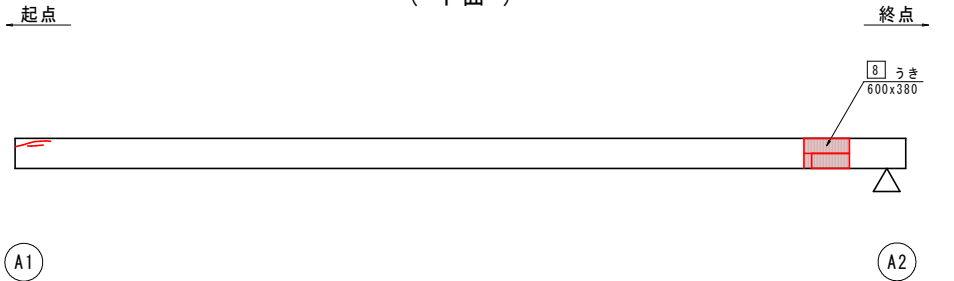
(G2桁側側面)



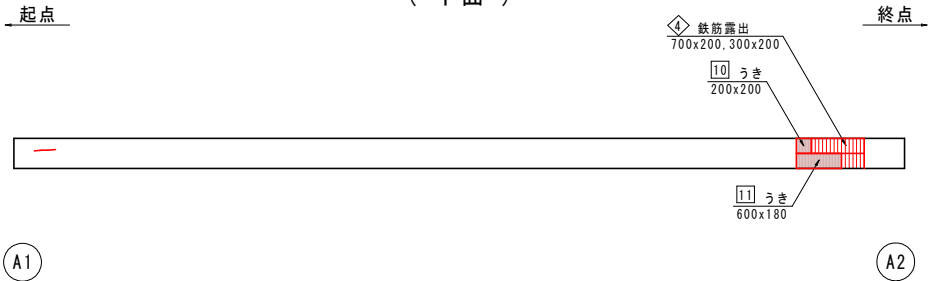
(下面)



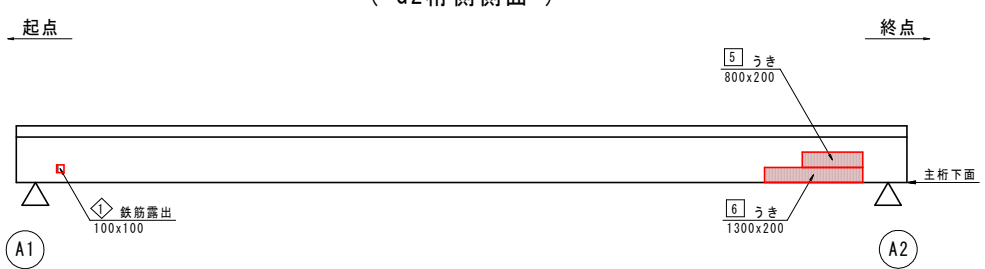
(下面)



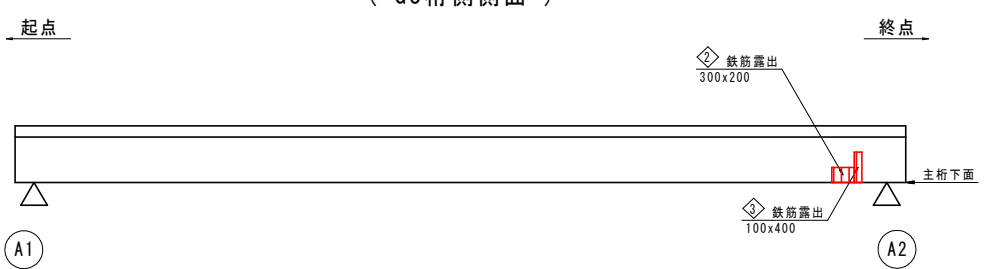
(下面)



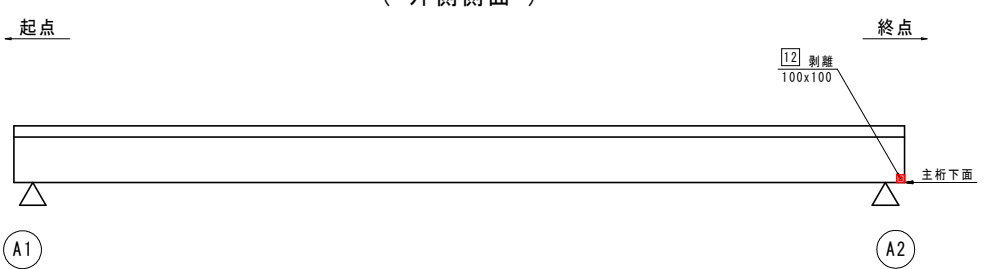
(G2桁側側面)



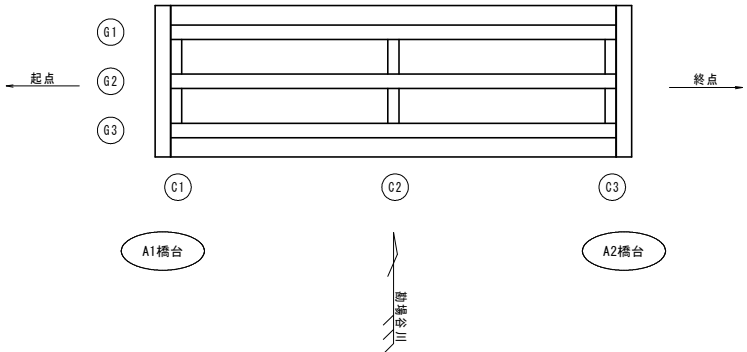
(G3桁側側面)



(外側側面)



マーク図



当初設計図面

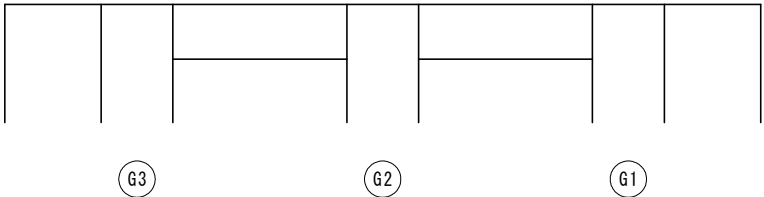
【上勘場橋】			
工 事 名	R 8 徳土 国道 4 3 8 号 (上勘場橋・府殿橋) 神・上分 橋梁修繕工事		
路線名等	一般国道 4 3 8 号		
工事箇所	名西郡神山町上分 (上勘場橋・府殿橋)		
図 面 名	主桁・横桁補修工詳細図 (1/3)		
縮 尺	1:50	図面番号	2 / 11
会 社 名			
事業者名	徳島県土整備事務所		

【注記】
・本図面は、確認調査結果を基に作図したものである。
・施工実施前に現地測定を行い、形状寸法を確認の上、材料発注・加工等に取りかかること。

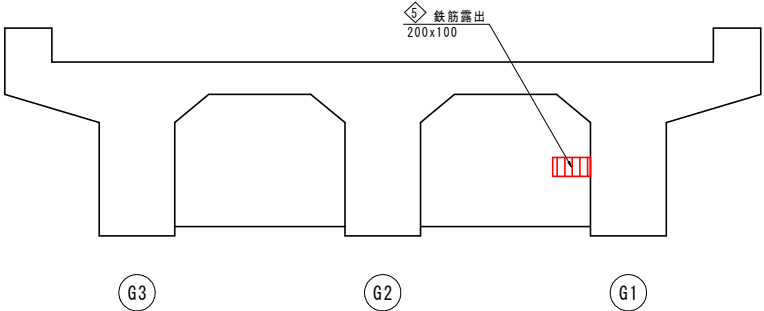
主桁・横桁補修工詳細図(2/3) S=1:20

C1横桁

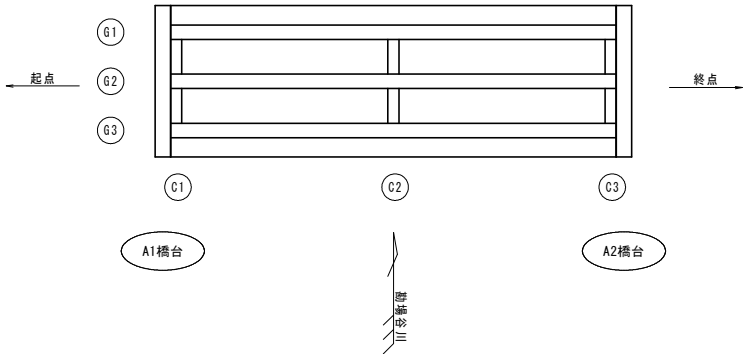
(下面)



(終点側正面)

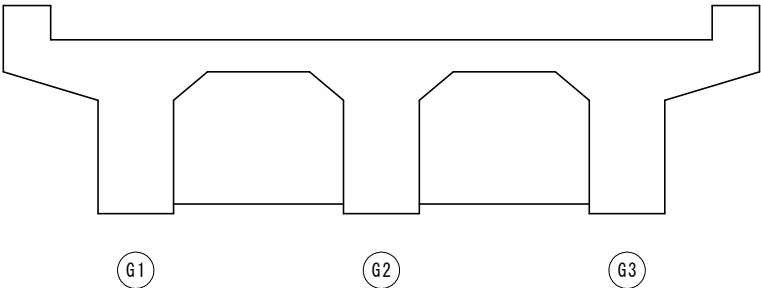


マーク図

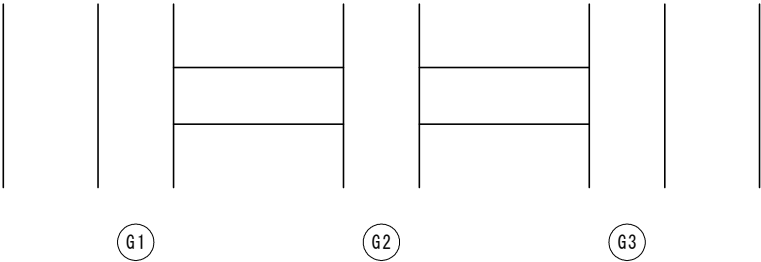


C2横桁

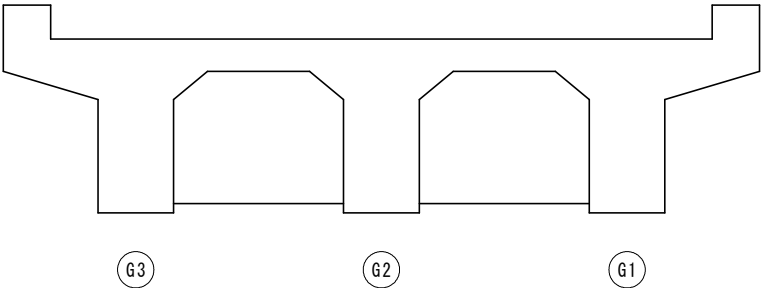
(起点側正面)



(下面)

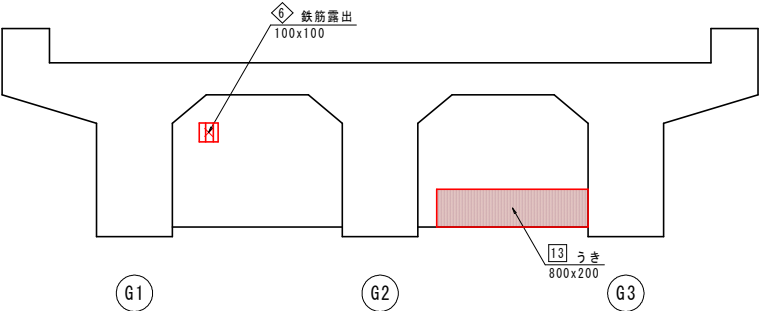


(終点側正面)

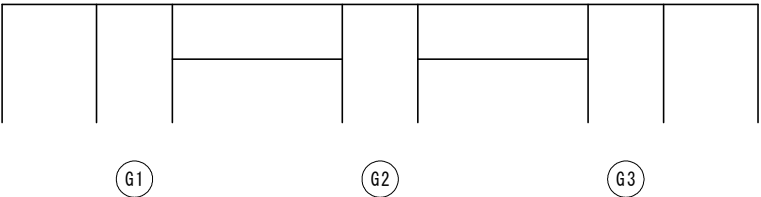


C3横桁

(起点側正面)



(下面)



当初設計図面

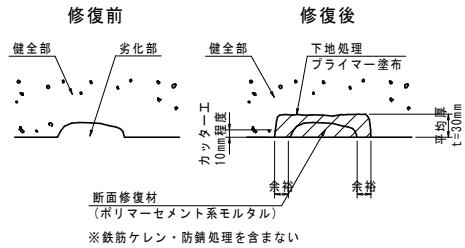
[上勘場橋]			
工 事 名	R 8 徳土 国道 4 3 8 号 (上勘場橋・府殿橋) 神・上分 橋梁修繕工事		
路線名等	一般国道 4 3 8 号		
工事箇所	名西郡神山町上分(上勘場橋・府殿橋)		
図 面 名	主桁・横桁補修工詳細図(2/3)		
縮 尺	1:20	図面番号	3 / 11
会 社 名			
事業者名	徳島県土整備事務所		

【注記】
・本図面は、確認調査結果を基に作図したものである。
・施工実施前に現地測定を行い、形状寸法を確認の上、
材料発注・加工等に取りかかること。

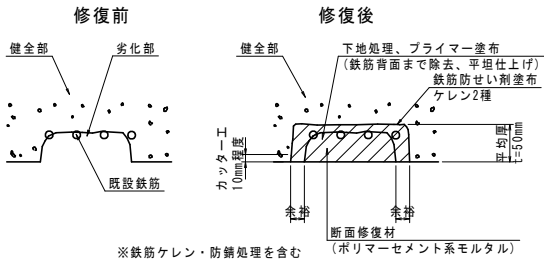
主桁・横桁補修工詳細図(3/3)

断面修復工詳細図

鉄筋非露出部



鉄筋露出部



- ・断面修復工の断面寸法は、施工にあたり剥離部等を取り除いた後、詳細計測を行い決定すること。
- ・はつり範囲に鉄筋を確認した場合は鉄筋を露出させて、鉄筋露出部の施工方法にて補修すること。
- ・鉄筋非露出部は、断面修復時の平均厚を30mmとする。

断面修復工数量表 ※鉄筋ケレン・防錆処理を含まない

番号		B	x	L	単位	鉄筋非露出部	備 考
						数 量	
主桁 (G1)							
1	150	×		600	m2	0.090	うき (t=30mm)
2	550	×		100	m2	0.055	剥離 (t=30mm)
3	800	×		380	m2	0.304	うき (t=30mm)
4	200	×		380	m2	0.076	剥離 (t=30mm)
5	800	×		200	m2	0.160	うき (t=30mm)
6	1300	×		200	m2	0.260	うき (t=30mm)
主桁 (G2)							
7	600	×		200	m2	0.120	うき (t=30mm)
8	600	×		380	m2	0.228	うき (t=30mm)
主桁 (G3)							
9	1100	×		200	m2	0.220	うき (t=30mm)
10	200	×		200	m2	0.040	うき (t=30mm)
11	600	×		180	m2	0.108	うき (t=30mm)
12	100	×		100	m2	0.010	剥離 (t=30mm)
横桁							
13	800	×		200	m2	0.160	うき (t=30mm)
合計 (面積)							
					m2	1.831	
合計 (体積)							
					m3	0.055	(t=30mm)
※ (体積)							
					m3	0.082	

※ 断面修復工の体積は、かぶり不足部分の修復時材料増加として50%増の数量を計上している。

断面修復工数量表 ※鉄筋ケレン・防錆処理を含む

番号	B x L			単位	鉄筋露出部	備 考
					数 量	
主桁 (G1)						
◇1	100	x	100	m2	0.010	鉄筋露出
主桁 (G2)						
◇2	300	x	200	m2	0.060	鉄筋露出
◇3	100	x	400	m2	0.040	鉄筋露出
主桁 (G3)						
◇4	700	x	200	m2	0.140	鉄筋露出
◇4	300	x	200	m2	0.060	鉄筋露出
横桁						
◇5	200	x	100	m2	0.020	鉄筋露出
◇6	100	x	100	m2	0.010	鉄筋露出
合計 (面積)						
				m2	0.340	
合計 (体積)						
				m3	0.017	(t=50mm)
※ (体積)						
				m3	0.026	

※ 断面修復工の体積は、かぶり不足部分の修復時材料増加として50%増の数量を計上している。

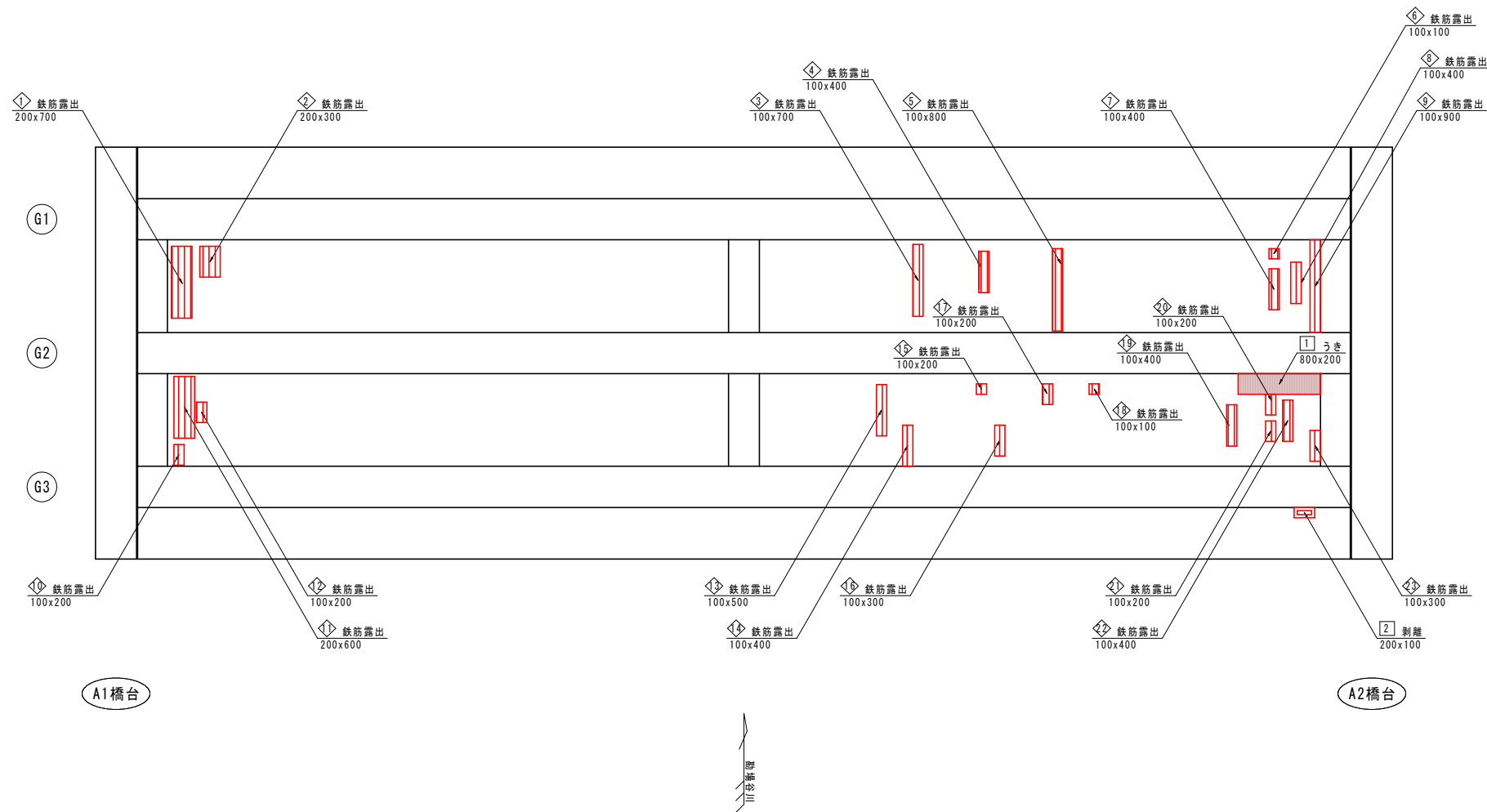
当初設計図面

[上勘場橋]			
工 事 名	R 8 徳土 国道 4 3 8 号 (上勘場橋・府殿橋) 神・上分 橋梁修繕工事		
路線名等	一般国道 4 3 8 号		
工事箇所	名西郡神山町上分(上勘場橋・府殿橋)		
図 面 名	主桁・横桁補修工詳細図(3/3)		
縮 尺	図示	図面番号	4 / 11
会 社 名			
事業者名	徳島県土整備事務所		

- 【注記】
- ・本図面は、確認調査結果を基に作図したものである。
 - ・施工実施前に現地測定を行い、形状寸法を確認の上、材料発注・加工等に取りかかること。

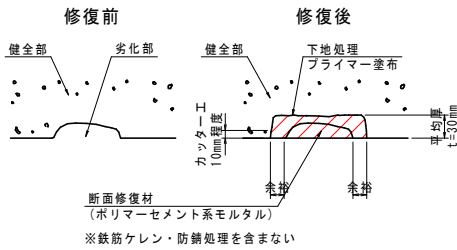
床版補修工詳細図 S=1:30

床版下面

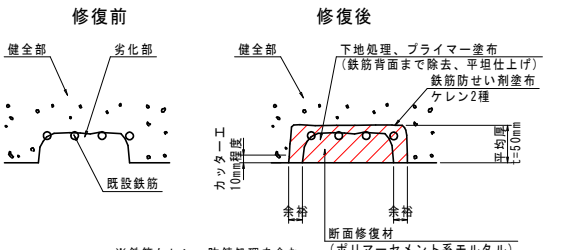


断面修復工詳細図

鉄筋非露出部



鉄筋露出部



- ・断面修復工の断面寸法は、施工にあたり剝離部等を取り除いた後、詳細計測を行い決定すること。
- ・はつり範囲に鉄筋を確認した場合は鉄筋を露出させて、鉄筋露出部の施工方法にて補修すること。
- ・鉄筋非露出部は、断面修復時の平均厚を30mmとする。

断面修復工数量表

※鉄筋ケレン・防錆処理を含まない

番号	B	x	L	単位	鉄筋非露出部		備 考
					数 量		
床版							
1	800	x	200	m2	0.160		うき
2	200	x	100	m2	0.020		剥離
合計（面積）				m2	0.180		
合計（体積）				m3	0.005		(t=30mm)
※（体積）				m3	0.008		

※ 断面修復工の体積は、かぶり不足部分の修復時材料増加として50%増の数量を計上している。

断面修復工数量表

※鉄筋ケレン・防錆処理を含む

番号	B	x	L	単位	鉄筋露出部		備 考
					数	量	
床版							
①	200	x	700	m2	0.140		鉄筋露出
②	200	x	300	m2	0.060		鉄筋露出
③	100	x	700	m2	0.070		鉄筋露出
④	100	x	400	m2	0.040		鉄筋露出
⑤	100	x	800	m2	0.080		鉄筋露出
⑥	100	x	100	m2	0.010		鉄筋露出
⑦	100	x	400	m2	0.040		鉄筋露出
⑧	100	x	400	m2	0.040		鉄筋露出
⑨	100	x	900	m2	0.090		鉄筋露出
⑩	100	x	200	m2	0.020		鉄筋露出
⑪	200	x	600	m2	0.120		鉄筋露出
⑫	100	x	200	m2	0.020		鉄筋露出
⑬	100	x	500	m2	0.050		鉄筋露出
⑭	100	x	400	m2	0.040		鉄筋露出
⑮	100	x	200	m2	0.020		鉄筋露出
⑯	100	x	300	m2	0.030		鉄筋露出
⑰	100	x	200	m2	0.020		鉄筋露出
⑱	100	x	100	m2	0.010		鉄筋露出
⑲	100	x	400	m2	0.040		鉄筋露出
⑳	100	x	200	m2	0.020		鉄筋露出
㉑	100	x	200	m2	0.020		鉄筋露出
㉒	100	x	400	m2	0.040		鉄筋露出
㉓	100	x	300	m2	0.030		鉄筋露出
合計（面積）				m2	1.050		
合計（体積）				m3	0.053		($\tau=50\text{mm}$)
※（体積）				m3	0.079		

※ 断面修復工の体積は、かぶり不足部分の修復時材料増加として50%増の数量を計上している。

当初設計図面

[上勘場橋]

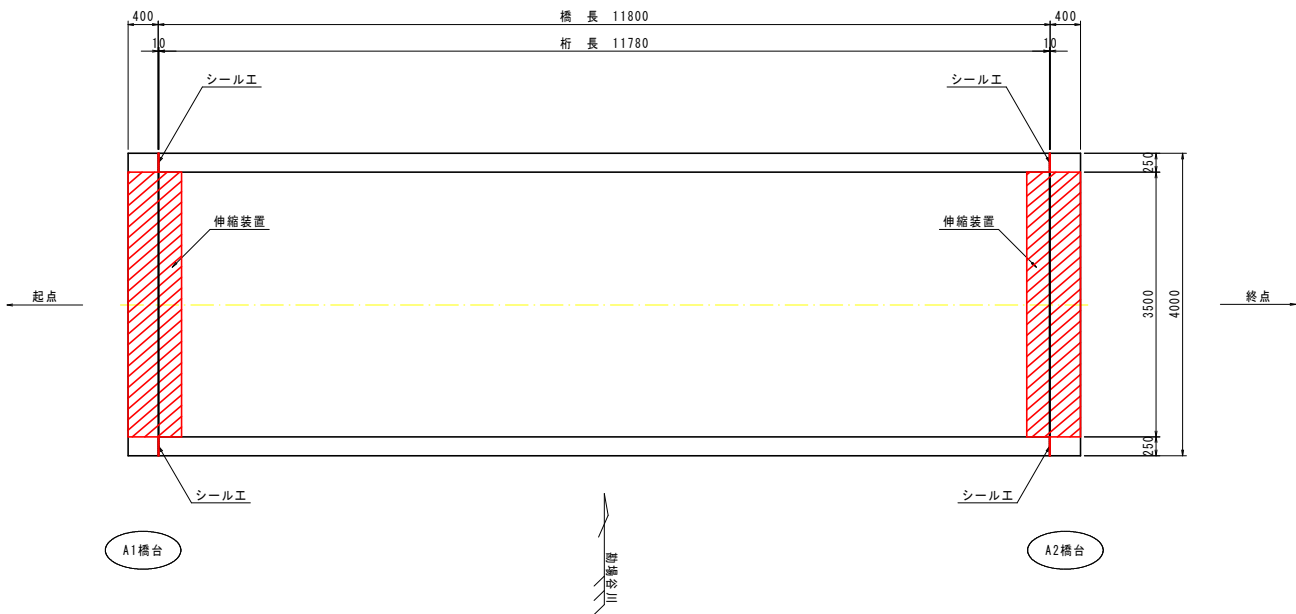
工 事 名	R 8 徳土 神，上分 国道438号（上助増橋、府殿橋） 橋梁修繕工事		
路線名等	一般国道438号		
工事箇所	名西郡神山町上分（上助増橋、府殿橋）		
図 面 名	床版補修工詳細図		
縮 尺	1:30	図面番号	5 / 11
会 社 名			
事業者名	徳島県土木整備事務所		

【注記

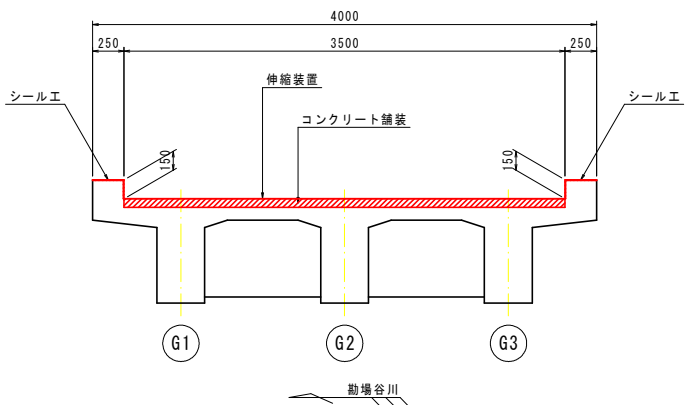
- ・本図面は、確認調査結果を基に作図したものである
- ・施工実施前に現地測定を行い、形状寸法を確認の上材料発注・加工等に取り掛かること。

伸縮装置補修工詳細図

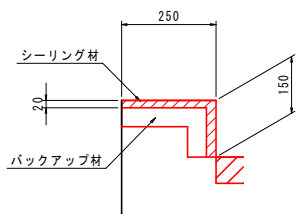
平面図 S=1:50



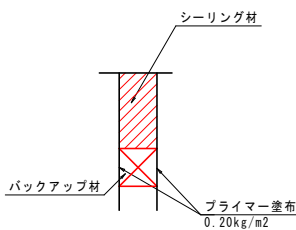
断面図 S=1:30



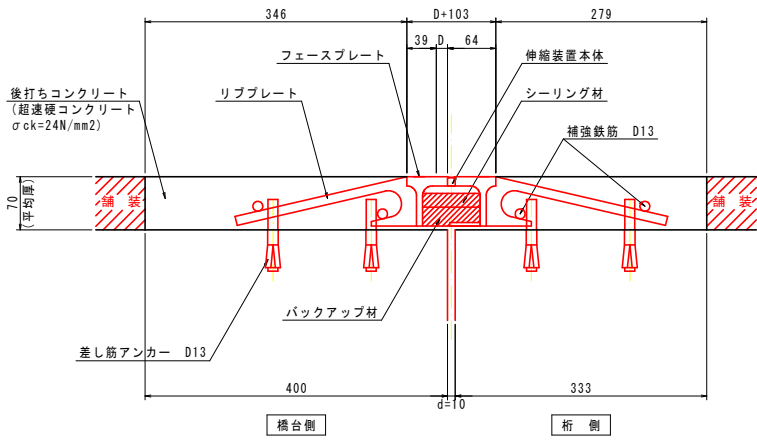
シーリング詳細図 S=1:10



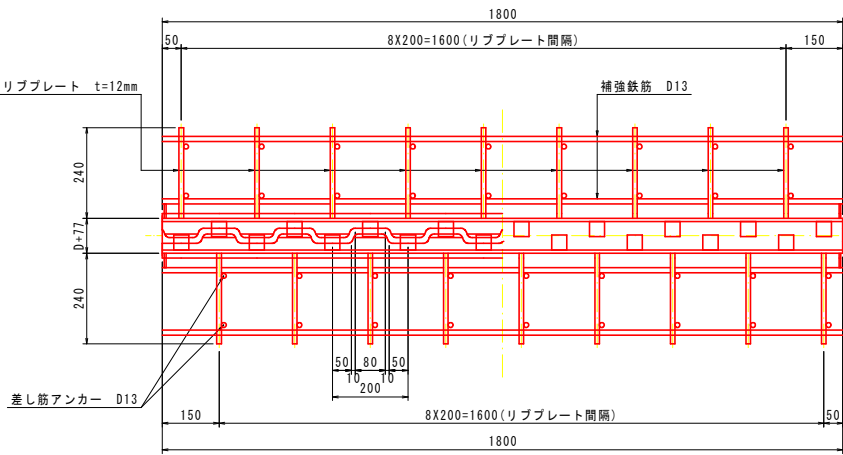
シーリング材充填図



伸縮装置断面図 S=1:5
(AIJ-20同等品)



伸縮装置平面図 S=1:10
(AIJ-20同等品)



伸縮装置取替数量表							
数 量 表							
番号	名 称	規格・材質	単位	A1	A2	合計	備 考
1	車道用伸縮装置	AIJ-20同等品	m	3.500	3.500	7.000	伸縮量：20mm 適用最大床版遊間：86mm
2	後打ちコンクリート	超速硬コンクリート ($\sigma_{ck}=24N/mm^2$)	m ³	0.15	0.15	0.30	
3	補強鉄筋	D13 SD345	kg	14	14	28	
4	差し筋アンカー	D13	本	72	72	144	
5	シーリング材	シリコン系	リットル	0.152	0.152	0.304	地覆部

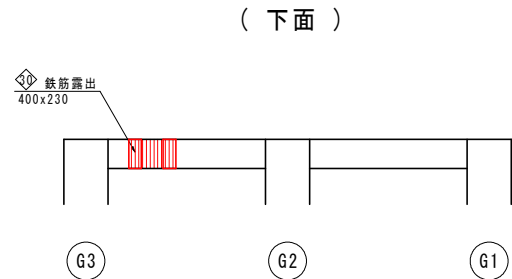
当初設計図面
[上勤場橋]

工 事 名	R8徳土 国道438号 (上勤場橋・府殿橋) 神・上分 橋梁修繕工事		
路線名等	一般国道438号		
工事箇所	名西郡神山町上分(上勤場橋・府殿橋)		
図 面 名	伸縮装置補修工詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	6 / 11
会 社 名			
事業者名	徳島県土整備事務所		

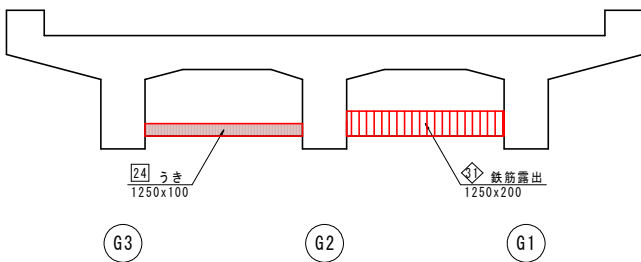
- 【注記】
- ・本図面は、確認調査結果を基に作図したものである。
 - ・施工実施前に現地測定を行い、形状寸法を確認の上、材料発注・加工等に取りかかること。
 - ・ジョイントセット遊間Dは、施工時の温度により変更すること。

主桁・横桁補修工詳細図(2/3) S=1:30

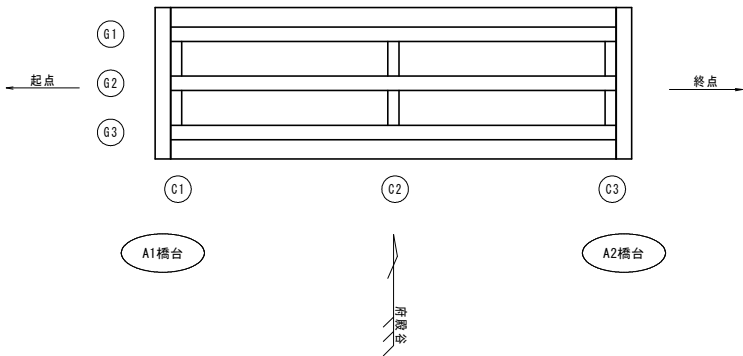
C1横桁



(終点側正面)

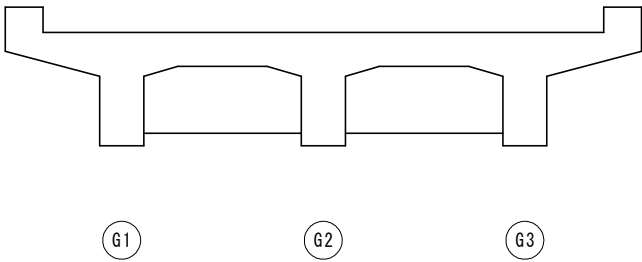


マーク図

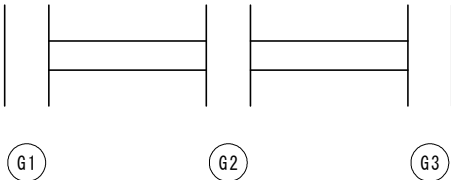


C2横桁

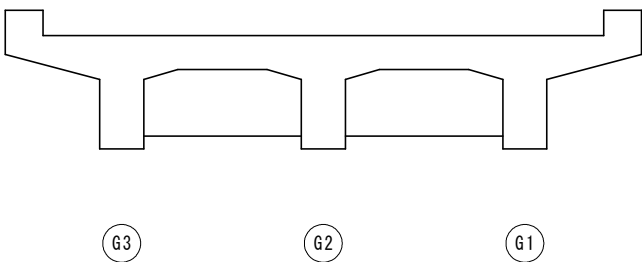
(起点側正面)



(下面)

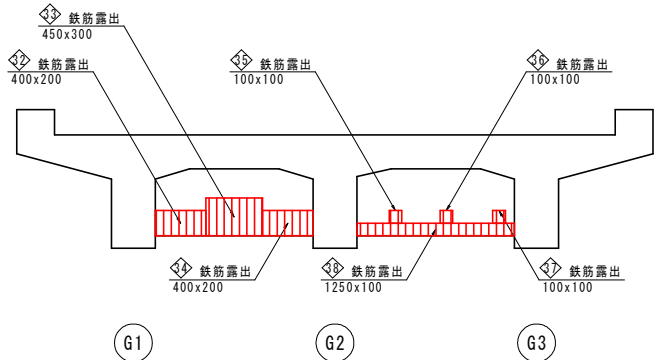


(終点側正面)

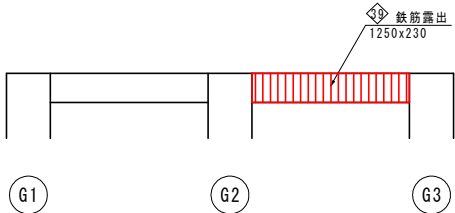


C3横桁

(起点側正面)



(下面)



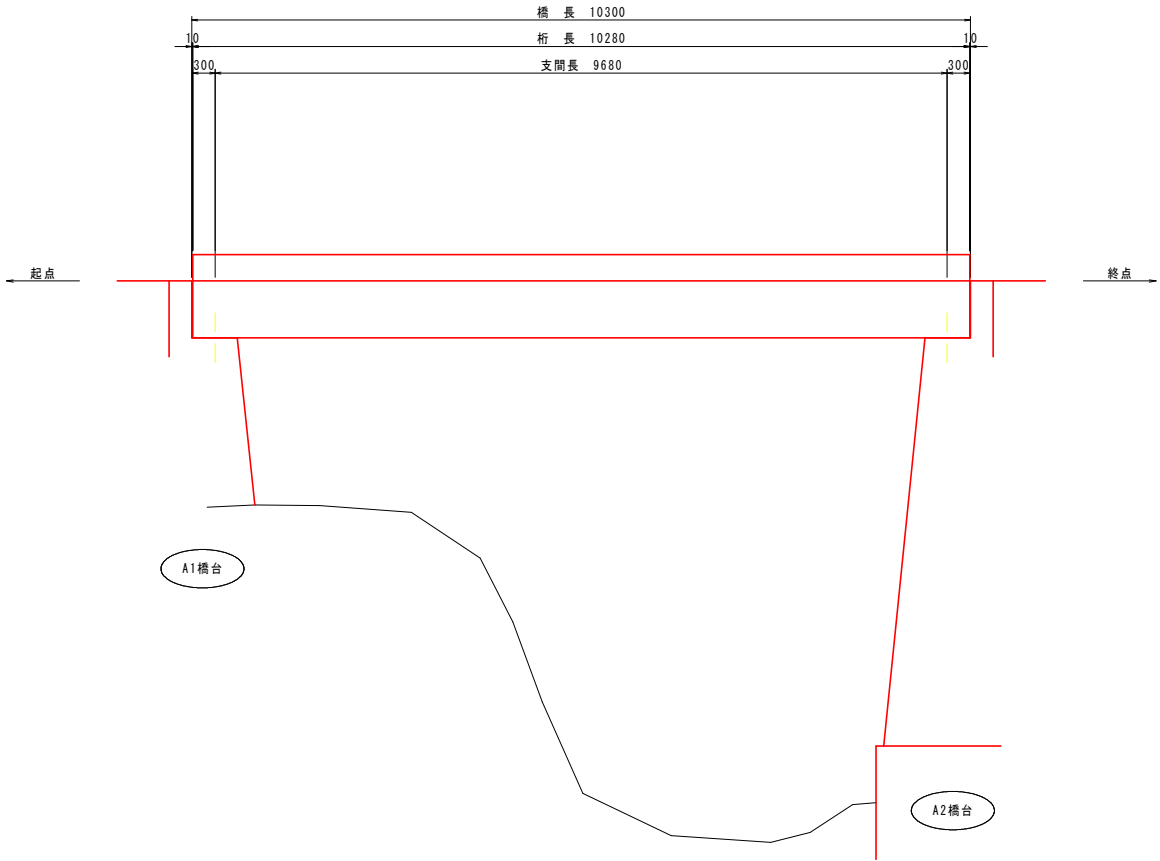
当初設計図面

【府殿橋】			
工 事 名	R 8 徳土 国道 4 3 8 号 (上勤場橋・府殿橋) 神・上分 橋梁修繕工事		
路線名等	一般国道 4 3 8 号		
工事箇所	名西郡神山町上分(上勤場橋・府殿橋)		
図 面 名	主桁・横桁補修工詳細図(2/3)		
縮 尺	1:30	図面番号	7 / 11
会 社 名			
事業者名	徳島県土整備事務所		

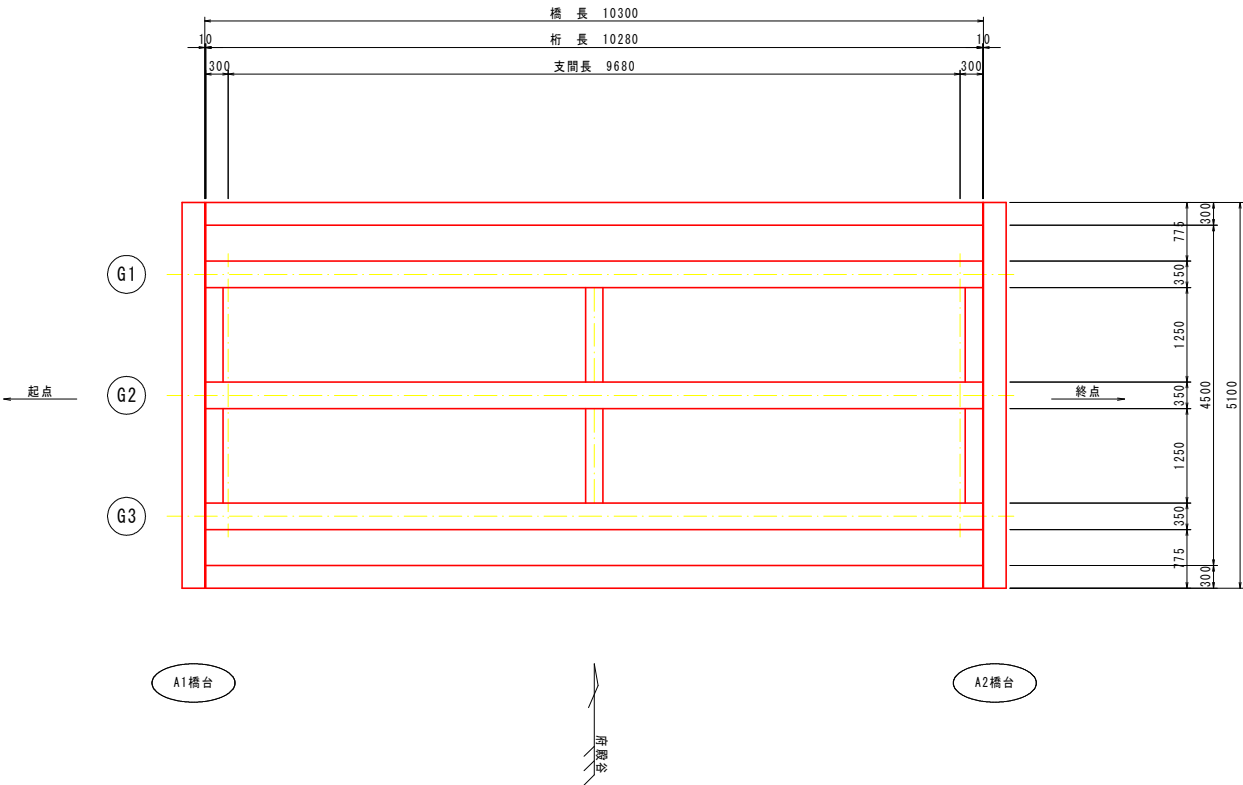
【注記】
・本図面は、確認調査結果を基に作図したものである。
・施工実施前に現地測定を行い、形状寸法を確認の上、材料発注・加工等に取りかかること。

府殿橋 現橋一般図

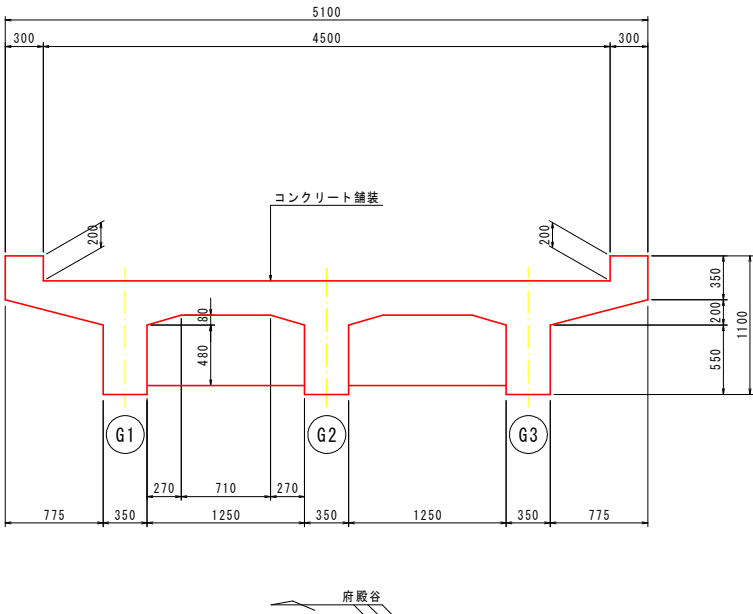
側面図 S=1:50



平面図 S=1:50



断面図 S=1:30



橋 梁 諸 元		
橋 名	府殿橋	
橋 長	10.300 m	
桁 長	10.280 m	
支 間	9.680 m	
幅 員	有効幅員：4.500 m／全幅員：5.100 m	
平 面 線 形	R=∞	
縦 断 勾 配	LEVEL	
横 断 勾 配	LEVEL	
橋 梁 斜 角	90°	
設 計 活 荷 重	TL-14 (2等橋)	
上部構造形式	鉄筋コンクリートT桁橋	
下部構造形式	重力式橋台	
基礎構造形式	直接基礎	
使用材料	上部構造	コンクリート： $\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$ (推定)
		鉄筋：SR235 (推定)
	下部構造	コンクリート： $\sigma_{ck}=16\text{N/mm}^2$ (推定)
交 差 条 件	府殿谷	
架 設 年 次	1957年 (昭和32年)	

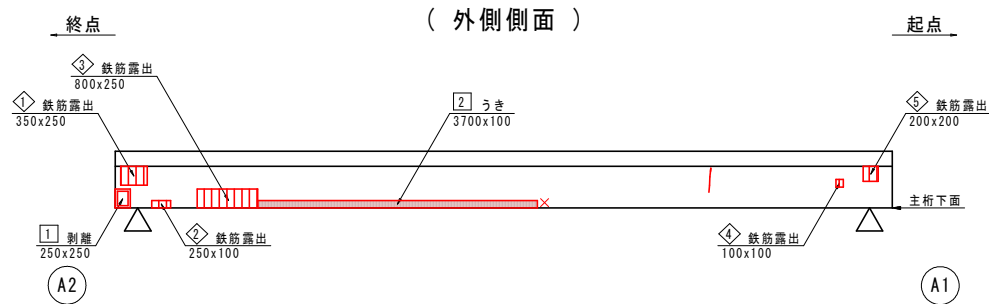
当初設計図面

【府殿橋】			
工事名	R8徳土 国道438号 (上勘場橋・府殿橋) 神・上分 橋梁修繕工事		
路線名等	一般国道438号		
工事箇所	名西部神山町上分 (上勘場橋・府殿橋)		
図面名	府殿橋 現橋一般図		
縮尺	図示	図面番号	8 / 11
会社名			
事業者名	徳島県土整備事務所		

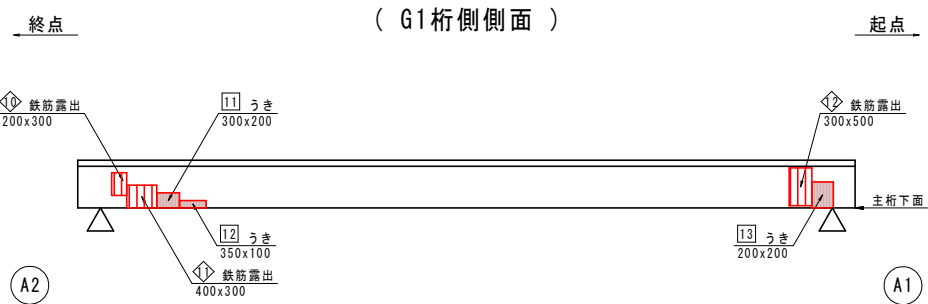
【注記】
・本図面は、確認調査結果を基に作図したものである。
・施工実施前に現地測定を行い、形状寸法を確認の上、材料発注・加工等に取りかかること。

主桁・横桁補修工詳細図(1/3) S=1:50

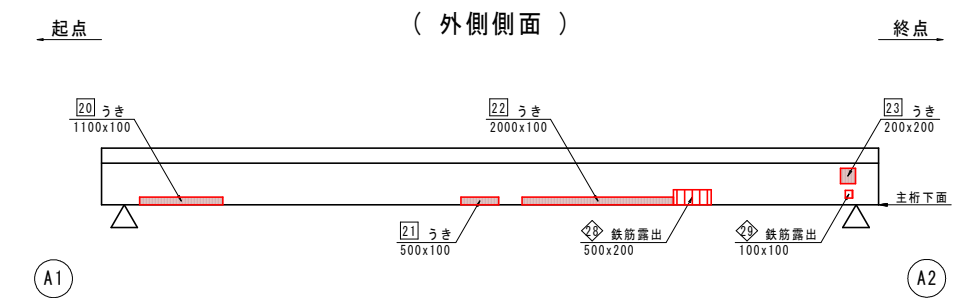
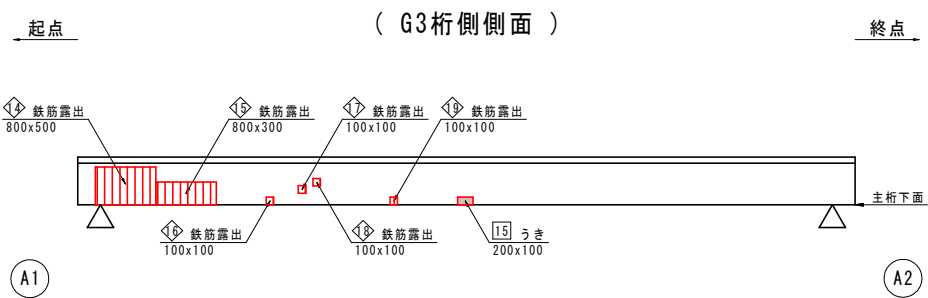
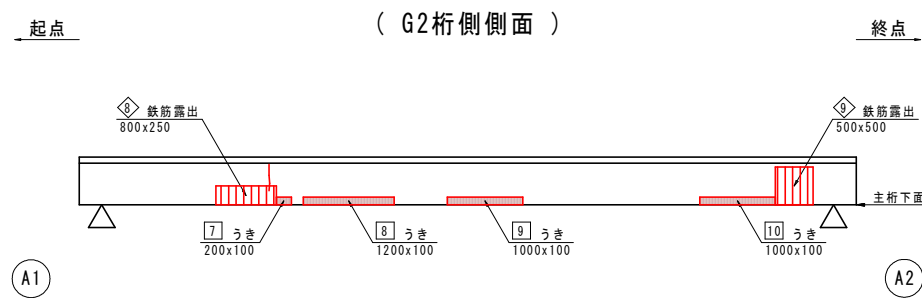
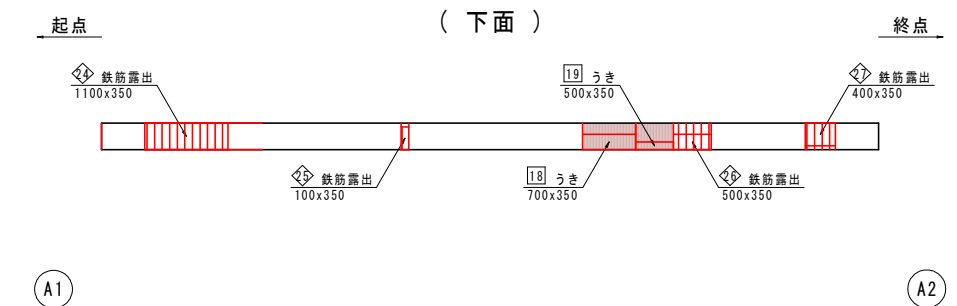
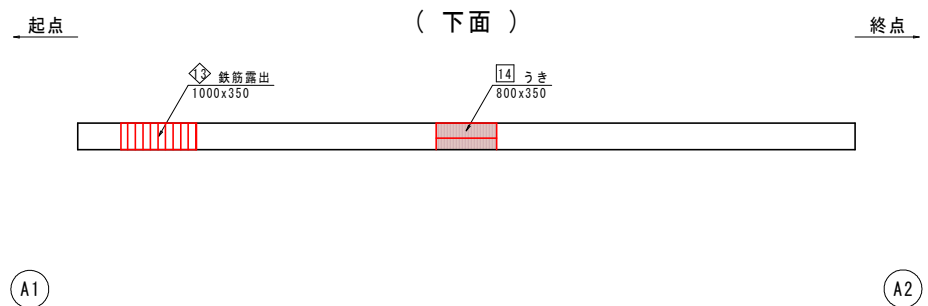
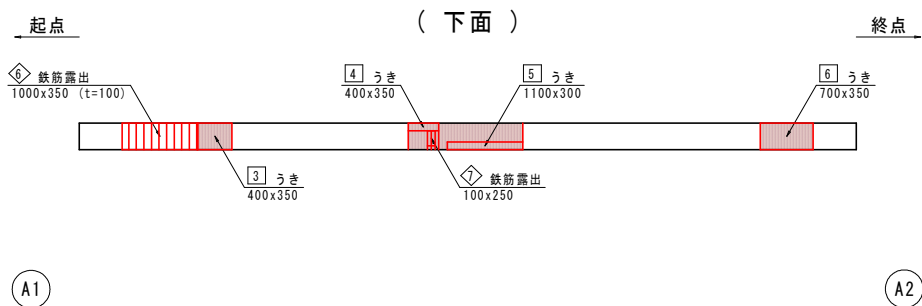
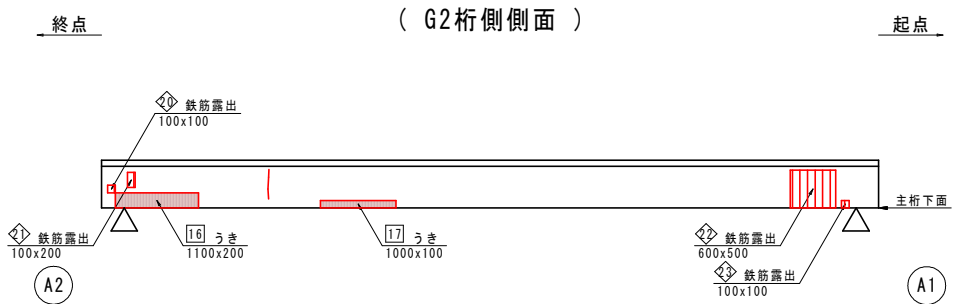
G1桁



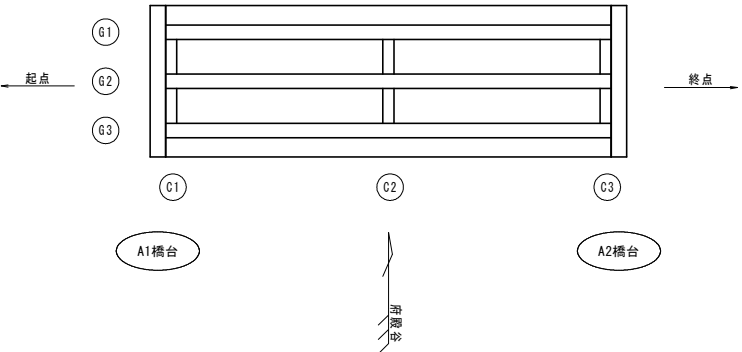
G2桁



G3桁



マーク図



当初設計図面

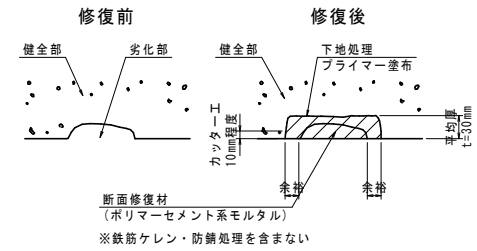
【府殿橋】			
工事名	R8徳土 国道438号 (上勘場橋・府殿橋) 神・上分 橋梁修繕工事		
路線名等	一般国道438号		
工事箇所	名西郡神山町上分(上勘場橋・府殿橋)		
図面名	主桁・横桁補修工詳細図(1/3)		
縮尺	1:50	図面番号	9 / 11
会社名			
事業者名	徳島県土整備事務所		

【注記】
・本図面は、確認調査結果を基に作図したものである。
・施工実施前に現地測定を行い、形状寸法を確認の上、材料発注・加工等に取りかかること。

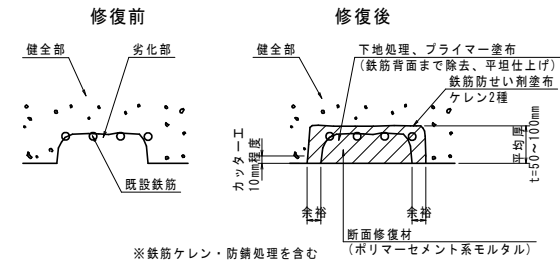
主桁・横桁補修工詳細図(3/3)

断面修復工詳細図

鉄筋非露出部



鉄筋露出部



- ・断面修復工の断面寸法は、施工にあたり剥離部等を取り除いた後、詳細計測を行い決定すること。
- ・はつり範囲に鉄筋を確認した場合は鉄筋を露出させて、鉄筋露出部の施工方法にて補修すること。
- ・鉄筋非露出部は、断面修復時の平均厚を30mmとする。

断面修復工数量表

※鉄筋ケレン・防錆処理を含まない

番号		B x L	単位	鉄筋非露出部	備 考
				数 量	
主桁 (G1)					
1	250	x 250	m2	0.063	剥離 (t=30mm)
2	3700	x 100	m2	0.370	うき (t=30mm)
3	400	x 350	m2	0.140	うき (t=30mm)
4	400	x 350	m2	0.140	うき (t=30mm)
5	1100	x 300	m2	0.330	うき (t=30mm)
6	700	x 350	m2	0.245	うき (t=30mm)
7	200	x 100	m2	0.020	うき (t=30mm)
8	1200	x 100	m2	0.120	うき (t=30mm)
9	1000	x 100	m2	0.100	うき (t=30mm)
10	1000	x 100	m2	0.100	うき (t=30mm)
主桁 (G2)					
11	300	x 200	m2	0.060	うき (t=30mm)
12	350	x 100	m2	0.035	うき (t=30mm)
13	200	x 200	m2	0.040	うき (t=30mm)
14	800	x 350	m2	0.280	うき (t=30mm)
15	200	x 100	m2	0.020	うき (t=30mm)
主桁 (G3)					
16	1100	x 200	m2	0.220	うき (t=30mm)
17	1000	x 100	m2	0.100	うき (t=30mm)
18	700	x 350	m2	0.245	うき (t=30mm)
19	500	x 350	m2	0.175	うき (t=30mm)
20	1100	x 100	m2	0.110	うき (t=30mm)
21	500	x 100	m2	0.050	うき (t=30mm)
22	2000	x 100	m2	0.200	うき (t=30mm)
23	200	x 200	m2	0.040	うき (t=30mm)
横桁					
24	1250	x 100	m2	0.125	うき (t=30mm)
◇ 控除					
100	x 250	m2	-0.025		
合計 (面積)					
			m2	3.303	
合計 (体積)					
			m3	0.099	(t=30mm)
※ (体積)					
			m3	0.149	

※ 断面修復工の体積は、かぶり不足部分の修復時材料増加として50%増の数量を計上している。

断面修復工数量表

※鉄筋ケレン・防錆処理を含む

番号		B x L	単位	鉄筋露出部	備 考
				数 量	
主桁 (G1)					
①	350	x 250	m2	0.088	鉄筋露出 (t=50mm)
②	250	x 100	m2	0.025	鉄筋露出 (t=50mm)
③	800	x 250	m2	0.200	鉄筋露出 (t=50mm)
④	100	x 100	m2	0.010	鉄筋露出 (t=50mm)
⑤	200	x 200	m2	0.040	鉄筋露出 (t=50mm)
⑥	1000	x 350	m2	0.350	鉄筋露出 (t=100mm)
⑦	100	x 250	m2	0.025	鉄筋露出 (t=50mm)
⑧	800	x 250	m2	0.200	鉄筋露出 (t=50mm)
⑨	500	x 500	m2	0.250	鉄筋露出 (t=50mm)
主桁 (G2)					
⑩	200	x 300	m2	0.060	鉄筋露出 (t=50mm)
⑪	400	x 300	m2	0.120	鉄筋露出 (t=50mm)
⑫	300	x 500	m2	0.150	鉄筋露出 (t=50mm)
⑬	1000	x 350	m2	0.350	鉄筋露出 (t=50mm)
⑭	800	x 500	m2	0.400	鉄筋露出 (t=50mm)
⑮	800	x 300	m2	0.240	鉄筋露出 (t=50mm)
⑯	100	x 100	m2	0.010	鉄筋露出 (t=50mm)
⑰	100	x 100	m2	0.010	鉄筋露出 (t=50mm)
⑱	100	x 100	m2	0.010	鉄筋露出 (t=50mm)
⑲	100	x 100	m2	0.010	鉄筋露出 (t=50mm)
主桁 (G3)					
⑳	100	x 100	m2	0.010	鉄筋露出 (t=50mm)
㉑	100	x 200	m2	0.020	鉄筋露出 (t=50mm)
㉒	600	x 500	m2	0.300	鉄筋露出 (t=50mm)
㉓	100	x 100	m2	0.010	鉄筋露出 (t=50mm)
㉔	1100	x 350	m2	0.385	鉄筋露出 (t=50mm)
㉕	100	x 350	m2	0.035	鉄筋露出 (t=50mm)
㉖	500	x 350	m2	0.175	鉄筋露出 (t=50mm)
㉗	400	x 350	m2	0.140	鉄筋露出 (t=50mm)
㉘	500	x 200	m2	0.100	鉄筋露出 (t=50mm)
㉙	100	x 100	m2	0.010	鉄筋露出 (t=50mm)
横桁					
㉚	400	x 230	m2	0.092	鉄筋露出 (t=50mm)
㉛	1250	x 200	m2	0.250	鉄筋露出 (t=50mm)
㉜	400	x 200	m2	0.080	鉄筋露出 (t=50mm)
㉝	450	x 300	m2	0.135	鉄筋露出 (t=50mm)
㉞	400	x 200	m2	0.080	鉄筋露出 (t=50mm)
㉟	100	x 100	m2	0.010	鉄筋露出 (t=50mm)
㊱	100	x 100	m2	0.010	鉄筋露出 (t=50mm)
㊲	100	x 100	m2	0.010	鉄筋露出 (t=50mm)
㊳	1250	x 100	m2	0.125	鉄筋露出 (t=50mm)
㊴	1250	x 230	m2	0.288	鉄筋露出 (t=50mm)
小計 (面積)					
			m2	4.463	
小計 (体積)					
			m3	0.223	(t=50mm)
小計 (面積)					
			m2	0.350	
小計 (体積)					
			m3	0.035	(t=100mm)
合計 (面積)					
			m2	4.813	
合計 (体積)					
			m3	0.258	
※ (体積)					
			m3	0.387	

※ 断面修復工の体積は、かぶり不足部分の修復時材料増加として50%増の数量を計上している。

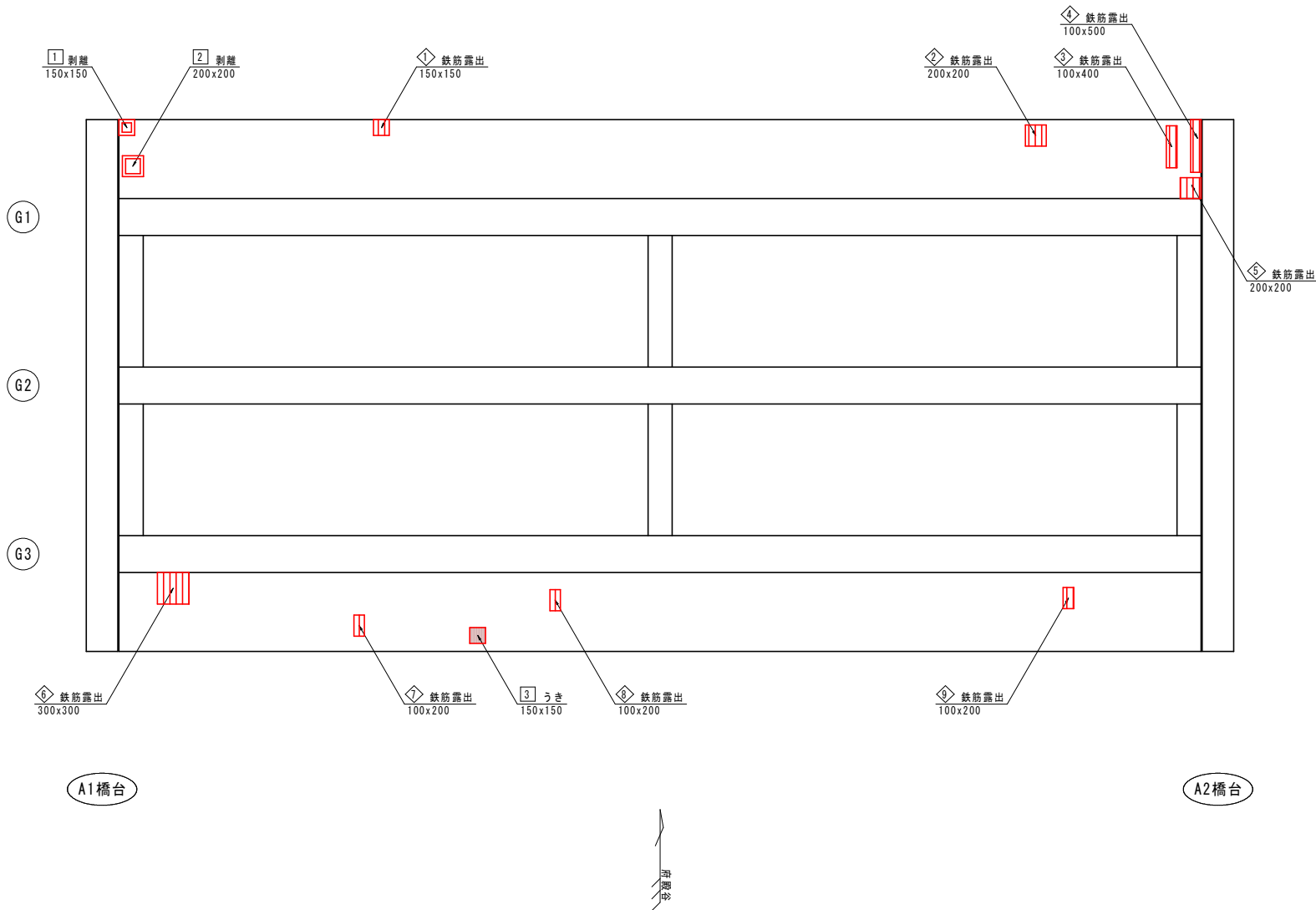
当初設計図面

【府殿橋】			
工 事 名	R8徳土 国道438号 (上勘場橋・府殿橋) 神・上分 橋梁修繕工事		
路線名等	一般国道438号		
工事箇所	名西郡神山町上分 (上勘場橋・府殿橋)		
図 面 名	主桁・横桁補修工詳細図 (3/3)		
縮 尺	図示	図面番号	10 / 11
会 社 名			
事業者名	徳島県土整備事務所		

- 【注記】
- ・本図面は、確認調査結果を基に作図したものである。
 - ・施工実施前に現地測定を行い、形状寸法を確認の上、材料発注・加工等に取りかかること。

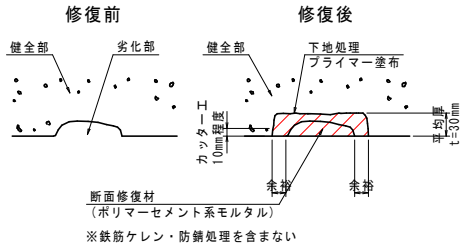
床版補修工詳細図 S=1:30

床版下面

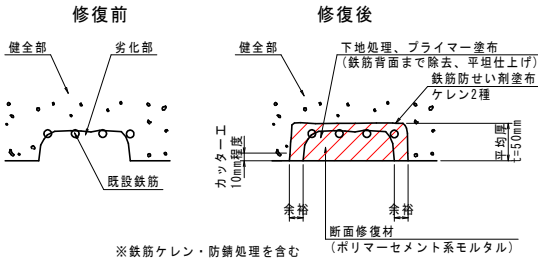


断面修復工詳細図

鉄筋非露出部



鉄筋露出部



- ・断面修復工の断面寸法は、施工にあたり剥離部等を取り除いた後、詳細計測を行い決定すること。
- ・はつり範囲に鉄筋を確認した場合は鉄筋を露出させて、鉄筋露出部の施工方法にて補修すること。
- ・鉄筋非露出部は、断面修復時の平均厚を30mmとする。

断面修復工数量表

※鉄筋ケレン・防錆処理を含まない

番号	B x L	単位	鉄筋非露出部	備 考
			数 量	
床版				
1	150 x 150	m2	0.023	剥離
2	200 x 200	m2	0.040	剥離
3	150 x 150	m2	0.023	うき
合計（面積）		m2	0.086	
合計（体積）		m3	0.003	(t=30mm)
※（体積）		m3	0.004	

※ 断面修復工の体積は、かぶり不足部分の修復時材料増加として50%増の数量を計上している。

断面修復工数量表

※鉄筋ケレン・防錆処理を含む

番号	B x L	単位	鉄筋露出部	備 考
			数 量	
床版				
①	150 x 150	m2	0.023	鉄筋露出
②	200 x 200	m2	0.040	鉄筋露出
③	100 x 400	m2	0.040	鉄筋露出
④	100 x 500	m2	0.050	鉄筋露出
⑤	200 x 200	m2	0.040	鉄筋露出
⑥	300 x 300	m2	0.090	鉄筋露出
⑦	100 x 200	m2	0.020	鉄筋露出
⑧	100 x 200	m2	0.020	鉄筋露出
⑨	100 x 200	m2	0.020	鉄筋露出
合計 (面積)		m2	0.343	
合計 (体積)		m3	0.017	(t=50mm)
※ (体積)		m3	0.026	

※ 断面修復工の体積は、かぶり不足部分の修復時材料増加として50%増の数量を計上している。

当初設計図面

【府殿橋】			
工 事 名	R8徳土 国道438号 (上勤場橋・府殿橋) 神・上分 橋梁修繕工事		
路線名等	一般国道438号		
工事箇所	名西郡神山町上分(上勤場橋・府殿橋)		
図 面 名	床版補修工詳細図		
縮 尺	1:30	図面番号	11 / 11
会 社 名			
事業者名	徳島県土整備事務所		

- 【注記】
- ・本図面は、確認調査結果を基に作図したものである。
 - ・施工実施前に現地測定を行い、形状寸法を確認の上、材料発注・加工等に取りかかること。